

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)

【公開番号】特開 2005-157516 (P2005-157516A)

【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2005-023

【出願番号】特願 2003-391729 (P2003-391729)

【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 5 1 0

B 4 1 J 3/00 B

H 0 4 N 1/40 D

H 0 4 N 1/46 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 20 日 (2006.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の色空間の入力色信号を、前記第 1 の色空間と色域の異なる第 2 の色空間の色信号に変換する画像処理方法であって、前記第 1 の色空間における信号と前記第 2 の色空間における信号の相対位置を求める工程と、

前記相対位置を用いて色変換を行うことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 2】

前記第 1 の色空間、第 2 の色空間は多面体で表現することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 3】

前記相対位置の表現には色域外縁と、もとの色信号の彩度情報を失わないように記憶する記憶手段を有し、記憶された彩度情報と色域情報の二つのパラメータに応じて前記色変換を行うことを特長する請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 4】

前記第 1 の色空間内の複数の代表色に対応する前記第 2 の色空間内の複数の目標色を記憶する記憶手段を有し、記憶された複数の目標色及び前記入力色信号に応じて色信号の変換を行うことを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 5】

前記入力色信号は、均等色空間で表される色信号であることを特徴とする請求項 4 記載の画像処理方法。

【請求項 6】

前記均等色空間は、所定の色空間を含めて、任意の色信号の値を有する点の集合であることを特徴とする請求項 4 記載の画像処理方法。

【請求項 7】

第 1 の色空間における特定の複数点に対し、色域の異なる第 2 の色空間での目標点が定められているとき、第 1 の色空間内における特定の複数点以外の点を第 2 の色空間内へ変換する画像処理方法であって、前記第 1 の色空間における信号の色相を前記第 2 の色空間における色相に合わせることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 8】

前記第 1 の色空間、第 2 の色空間は複数の四面体からなる多面体で表現することを特徴とする請求項 7 記載の画像処理方法。

【請求項 9】

前記第 1 の色空間から前期第 2 の色空間への変換方法は、前記第 1 の色空間における信号と前記第 2 の色空間における信号の相対位置を求める工程と、相対位置を用いて色変換を行うことを特徴とする請求項 7 記載の画像処理方法。

【請求項 10】

前記相対位置の表現には色域外縁と、もとの色信号の彩度情報を失わないように記憶する記憶部を有し、記憶された彩度情報と色域情報の二つのパラメータに応じて前記色変換を行うことを特徴とする請求項 7 記載の画像処理方法。

【請求項 11】

前記第 1 の色空間内の複数の代表色に対応する前記第 2 の色空間内の複数の目標色を記憶する記憶手段を有し、記憶された複数の目標色及び前記入力色信号に応じて色信号の変換を行うことを特徴とする請求項 7 記載の画像処理方法。

【請求項 12】

第 1 の色空間における特定の複数点に対し、色域の異なる第 2 の色空間での目標点が定められているとき、第 1 の色空間内における特定の複数点以外の点を第 2 の色空間内へ変換する画像処理方法であって、前記第 1 の色空間における色域内部の色信号を前記第 2 の色空間における色域内部の色信号に変換することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 13】

前記第 1 の色空間、第 2 の色空間は複数の四面体からなる多面体で表現することを特徴とする請求項 12 記載の画像処理方法。

【請求項 14】

前記第 1 の色空間内における特定の複数点と、前記第 2 の色空間での目標点は、それぞれの色空間における色域外縁であることを特徴とする請求項 12 記載の画像処理方法。

【請求項 15】

第 1 の色空間における特定の複数点に対し、色域の異なる第 2 の色空間での目標点が定められているとき、第 1 の色空間内における特定の複数点以外の点を第 2 の色空間内へ変換する画像処理方法であって、前記第 1 の色空間における信号の彩度・明度を前記第 2 の色空間の彩度・明度に変換することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 16】

前記第 1 の色空間、第 2 の色空間は複数の四面体からなる多面体で表現することを特徴とする請求項 15 記載の画像処理方法。